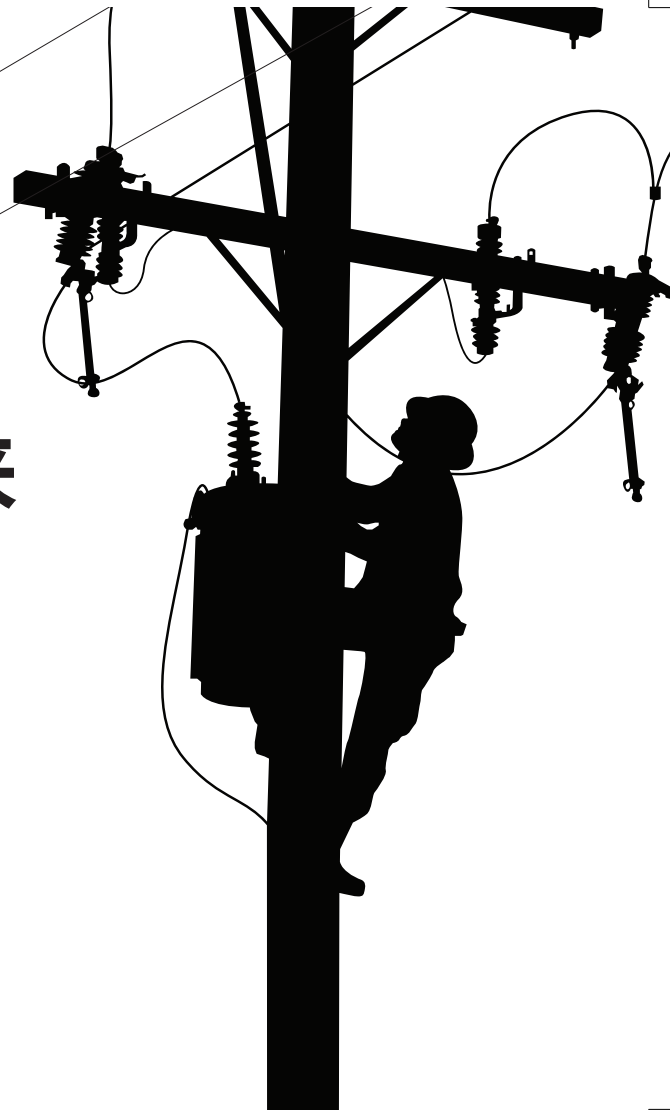


山火事シーズンが到来

今すぐご家族の備えを



& 山火事
安全対策

私たちはお客様の安全に全力で取り組みます

近年カリフォルニア州は、過去最も破壊的な山火事を幾度か経験しました。SDG&E[®]は、山火事の脅威から地域を守るために、あらゆる取り組みを行っています。私たちの最優先事項は、お客様、従業員、地域コミュニティの安全です。そのため、私たちは既存の設備や建造物の改善、強化を継続的に実施しています。



100

台以上

の監視カメラで天候と火事をモニタリングしています。



220

か所以上

の気象観測所で、風速、湿度、気温を計測しています。



26,000

本の電柱を、木製から耐火性のあるスチール製に交換しました。



455,000

本のSDG&Eの電線近くにある木の、点検と剪定が完了しました。



33

台のドローンが、年間を通じて、電気・ガスの供給ラインを上空から点検しています。



6

機のヘリコプターが山火事安全対策や電線の見回りに協力しています。



これだけにとどまりません。危険な条件が現出している場合は、皆様と皆様のコミュニティの安全を確保するため、電力の供給を停止することがあります。これを**計画停電 (PSPS)** といいます。その他にも、お客様への影響と山火事発生の可能性を抑える目的で、山火事安全対策を進めています。

計画停電とは？

SDG&Eは、火災のハイリスク条件をモニタリングしています。
モニタリング対象には以下のものが含まれます（ただし、この限りではない）。



暴風

(Red Flag warnings
[山火事注意報]
を含む)



低湿度



植生の乾燥

山火事の勢いを強める
恐れがあるもの



炎による脅威

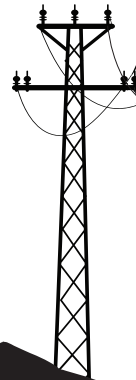
電力インフラに
対する脅威



地上観測



**公共安全への
リスク**









危険な条件が現出している
場合は、皆様と皆様の
コミュニティの安全を
確保する最後の手段として、
電力の供給を停止する
ことがあります。



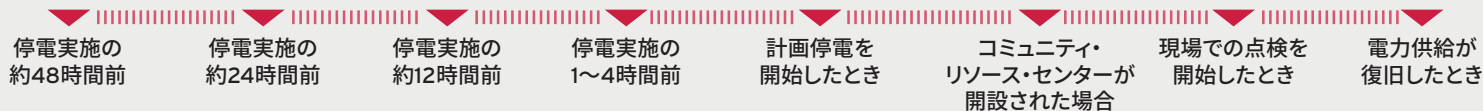
計画停電の詳細については、
sdge.com/wildfire-safetyをご覧ください。

計画停電実施の決定方法

計画停電のプロセス

7~10日前	3~6日前	2日前	1日前	停電当日	電気復旧
 <p>予測から危険な条件が発生する恐れがあると判明した場合は、SDG&Eは火事のリスクと潜在的影響を監視します。</p>	 <p>SDG&Eは、状況に応じて気象予報の精度を上げ、山火事発生の可能性を緩和します。</p>	 <p>SDG&Eは、計画停電を実施した場合に影響が及ぶお客様（重要施設や、電源が必要な医療ケア等を受けているお客様を含む）への通知を開始し、同時に、州・郡・市の政府当局へも通知します。</p>	 <p>SDG&Eは、引き続き気象条件を監視しつつ、影響を受けている地域への周知を行い、消防・警察や公衆安全当局と連携します。</p>	 <p>SDG&Eは、影響を受けている地域および政府等の公衆安全当局に電力の供給を停止したことを通知します。</p>	 <p>気象条件が安全な状態になったら、SDG&Eは復旧作業を開始します。地上作業員と上空からの点検リソースによって架空電線を点検し、暴風による損傷がないか、安全に運転できるか確認します。</p>

通知のタイムライン(実施可能な場合)



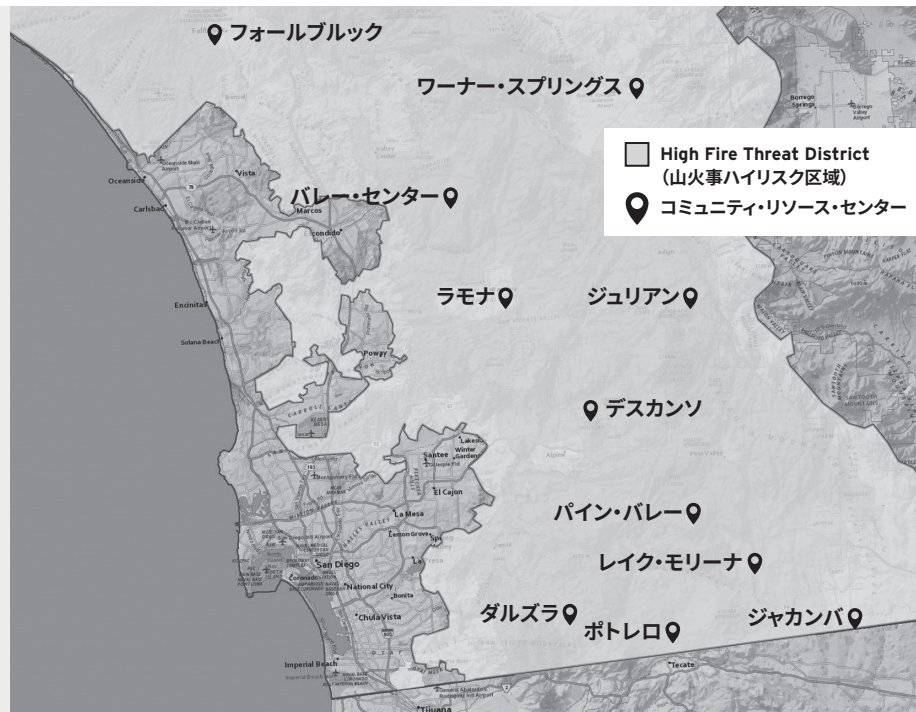
停電が長期間に及ぶと見込まれる場合は、影響があるエリアにコミュニティ・リソース・センターやインフォメーション・センターを開設することがあります。

長期間の停電時に利用できる場所を把握する

計画停電は、火事のリスクとなる条件が脅威でなくなるまで継続する可能性があります。

当社のコミュニティ・リソース・センターのうち、影響エリア内にあるいずれかのセンターを開設することがあります。

当施設は、影響を受けた住民の皆様が備蓄物資、氷、水、軽食、自動車用インバーター、ソーラー充電式小型バッテリー、ラジオを受け取れる場所として、また停電に関する最新情報が得られる場所としてご利用いただけます。



すべてのコミュニティ・リソース・センターを記載したリストは、施設の名称や住所なども含め、sdge.com/resource-centersに掲載しています。

安全を確保する — アクションを起こす

賢明な判断をしましょう。自分の身の安全を運任せにははいけません。今すぐ対策をして、非常時の備えをしましょう。



緊急時行動計画を立てる

家族が落ち合う場所、安全なルート、避難場所、緊急時の行動を決めておきます。お子さまも交えて、ご家族でこの計画について話し合い、訓練をしておきましょう。



非常用キットを用意しておく

必須のものは、すぐに使える場所に保管しておきます。ペット、高齢者、障害者用の物も含め、自分と家族に必要な物を非常用キットとして必ずストックしておきましょう。キットはリュックサックやプラスチック製のメッシュコンテナなど、持ち運びしやすい入れ物に入れて保管します。同封のチェックリストをご参照ください。



当社の計画停電通知アプリ

「Alerts by SDG&E」をダウンロードする

計画停電 (PSPS) が要請される場合の、事前・実施期間中・事後のPSPS最新情報をチェックしてください。アプリのダウンロード、アプリの詳細は、sdge.com/pspsappにアクセスしてください。

どのような状況であっても、SDG&Eは皆様とコミュニケーションを取るためにあらゆる手を尽くします。

連絡先情報を更新する

sdge.com/MyAccountにアクセスします。[Manage Your Contact Info (連絡先情報を管理する)] をクリックし、メールアドレスを含め、連絡先情報を更新してください。



停電通知の配信登録をする

情報を知っていただくことで、当社は皆様の安全確保をサポートできます。このプロセスはPSPS向けのものでもありますが、対象は山火事だけではありません。まずは、連絡先情報が最新の内容になっているかご確認ください。sdge.com/notificationsにアクセスしてください。



当社のResiliency Survey (耐性調査アンケート) に回答し、ヒントを得る

皆様と皆様の大切な方に合わせたおすすめ情報をご提供できるよう、簡単な質問にいくつかお答えいただくアンケートを作成しました。アンケートの回答を終えると、寄付先のコミュニティ団体を選択できます。SDG&Eが皆様に代わってその団体に20ドルを寄付します。詳しくは、sdge.com/preparedをご覧ください。

備える — 防火スペースを設ける

山火事防火対策として、ご自宅周囲の植生スペースに手を加えて、家屋がリスクにさらされる危険性を最小限に抑えましょう。

ゾーン1

ご自宅に最も近いエリアには十分なスペースを確保し、背が低く耐火性のある植物、たとえば芝、野菜、花壇、その他地域の園芸店などが推奨する植物などを植えておく必要があります。

30～50フィート

サンディエゴ郡では、ゾーン1に50フィートのクリアランスエリアを設ける必要があります。

ゾーン2

このゾーンには、耐火性があり、燃えるかが少なく、草丈の低いグラウンドカバー植物が推奨されます。ご自宅の防火スペースに合った植物については、業者に相談してみましょう。

100フィート

ゾーン3

自生している植生の中には絶滅危惧種やその生育地が含まれていることもあるため、自生植物に手を加える前に環境規制当局に確認してください。

100フィート超

手を加えていない植生

カリフォルニア州では、所有する建物の周囲に100フィートの防火スペースを設ける必要があります。



補助金でコミュニティの 安全構築に貢献

SDG&Eの慈善寄付イニシアチブSafe San Diegoは、アメリカ赤十字、211サンディエゴ、211オレンジ・カウンティ、サンディエゴ地域防火協会、サンディエゴ火災レスキュー協会、火傷研究所、部族横断長期復興財団、コミュニティ緊急事態対応チーム (CERT)、部族緊急事態対応チーム、火災安全評議会、その他のNPOとのコミュニティ・パートナーシップを通じて、消防隊員や警察官、緊急時用備蓄、防火スペース、山火事安全教育の支援に、10年以上にわたって補助金を寄付しています。詳しくは、sdge.com/safeをご覧ください。



SDG&Eをフォロー：



P.O. Box 129831 | San Diego, CA 92112-9831 | 800-411-7343

©2021 San Diego Gas & Electric Company. 商標はそれぞれの所有者の所有物です。無断複写・転載を禁じます。S2110025 1021